

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	3年	標準授業時間数	家庭科と合わせて35時間（週1時間）
----	--------------	----	----	---------	--------------------

目 標	教科目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	実践的・体験的な学習活動を通して、情報基礎に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

評 価	観 点	生活や技術への関心・意欲・態度	25%	情報基礎に関する技術について関心を持ち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。
		生活を創意工夫する能力	25%	生活と技術との関わりについて見直し、課題を見つけるとともに、その解決のために技術を適切に活用して工夫し創造する。
		生活の技能	25%	情報基礎に必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用できる。
		生活や技術についての知識・理解	25%	生活や産業の中での技術の役割について理解し、情報基礎に必要な基礎的な知識を身につけている。
	材 料	授業態度、学習ノート、作品の評価、定期テスト、提出物状況、忘れ物の点検。		
	方 法	以上4つの観点を総合的に判断し評価する。		

学 習 方 法	使用教材	教科書 技術家庭科 技術分野 (開隆堂)
	学習形態	コンピュータ教室にて出席番号順に着席。1人に1台のコンピュータを使用。
	学 習 の 進 め 方	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの操作においては、自分で責任を持って管理できるよう正しい使い方ができるようにする。 ・何のためにコンピュータを使うのか、どんな目的のために情報を集めるのか きちんとした目的意識を持つよう常に心がける。 ・情報モラルについて正しい認識を持ち活動できるようにする。 ・コンピュータの基礎・基本的な仕組みを知り、操作できるようにする。 ・作品づくりにおいては、工夫を凝らし発展できるようにする。 <p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や学習ノートを見直す。 ・授業の内容を教科書などを参考に自分がわかりやすいように整理する。 ・習ったことや分かったことを家庭生活の中で生かしていく。 ・課題をさらに自分で追求していく。

学習内容

月	学 習 の 内 容	時数	学習のポイント
4	1, 生活とコンピュータのかかわりを考えよう ・情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりについて知る。 ・情報化が社会や生活に及ぼす影響を知り、情報モラルの必要性について考える。	2	・コンピュータ教室の使用上の留意点。 ・情報が人間の生活をどう変えてきたか。
5	2, コンピュータ活用の計画を立てよう ・コンピュータの基本的な構成と機能を知り操作ができる。 ・自分のテーマにそってコンピュータでどんなことができるか調べて計画を立てることができる。	2	・コンピュータの基本的構成について知る。 ・正確なキー操作ができる。
6	3, 情報を収集しよう ・自分に必要な情報をいつどこで集めるか計画が立てられる。 ・問題解決のための情報を総合的に判断することができる。	3	・目的にあった作品の計画作り。デザインを考える。
7	4, 目的にあったソフトウェアで情報を処理しよう ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの機能と役割の違いを知る。	8	・課題解決のためのソフトウェア選択と必要な情報収集。
9	・一太郎ソフトを使っての文章作成		
10	・ジャストジャンプの表計算ソフトの活用		
11	・問題解決に必要なソフトウェアを選択することができる。ハイパーキューブソフトを使っての作品作り（時計の文字盤）		・アイデアに富んだ作品作り。
12			
1			
2	5, 自分が作った情報を発信して活用しよう ・情報を発信することの意味や、そのときの注意点について考えることができる。 ・環境に応じて、情報の作成をし、発信ができる。 ・お互いの作品を交流する。	2	・コンピュータの活用で、生活が豊かになった点と問題点の整理。 ・他の人の作品の良い点を見つける。
3	6, 情報モラルのある快適な生活を工夫しよう ・発信した情報には責任があることを知る。 ・これからの社会では、情報をどのように取り扱ったらよいかまとめることができる。	1	・情報モラルの大切さ。 ・コンピュータがもたらす社会的貢献と問題点の指摘。
合 計 時 数		18	